

# 平成31年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月13日

上場会社名 サイタホールディングス株式会社  
 コード番号 1999 URL <http://saita-hd.co.jp>

上場取引所 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 才田 善之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 平山 繁之

TEL 0946 22 3875

四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年6月期第2四半期の連結業績(平成30年7月1日～平成30年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年6月期第2四半期	2,909	5.0	359	44.5	403	57.2	255	69.1
30年6月期第2四半期	2,770	33.1	249	468.7	256	163.0	151	104.5

(注) 包括利益 31年6月期第2四半期 233百万円 (43.2%) 30年6月期第2四半期 163百万円 (145.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年6月期第2四半期	405.48	
30年6月期第2四半期	239.73	

(注) 当社は、平成30年1月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年6月期第2四半期	6,615	2,591	39.2	4,110.84
30年6月期	6,026	2,383	39.5	3,779.96

(参考) 自己資本 31年6月期第2四半期 2,591百万円 30年6月期 2,383百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年6月期		0.00		40.00	
31年6月期		0.00			
31年6月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

当社は、平成30年1月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年6月期の1株当たりの期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合後の基準で換算した平成30年6月期の1株当たり年間配当金は40円となります。

## 3. 平成31年6月期の連結業績予想(平成30年7月1日～平成31年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,140	7.1	370	32.7	385	34.5	290	9.9	459.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年6月期2Q	661,000 株	30年6月期	661,000 株
期末自己株式数	31年6月期2Q	30,506 株	30年6月期	30,506 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年6月期2Q	630,494 株	30年6月期2Q	630,508 株

(注)当社は、平成30年1月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
3. 四半期建設事業受注の概況 .....	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦や各国の政治情勢の変動、近隣における地政学的リスクの継続等、先行きの不透明感が強いものの、企業収益が好調に推移するとともに、設備投資の増加や雇用環境の改善等、全体的に緩やかな回復基調が続いております。

建設業界におきましては、災害復旧・復興事業等、公共投資は増加しているものの、技術労働者不足や資材価格の高止まりによる建設コストの上昇等、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは総力を挙げて受注活動を行うとともに、グループ各社の収益改善に努めて参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は29億9百万円（前年同四半期比5.0%増）、営業利益3億5千9百万円（前年同四半期比44.5%増）、経常利益4億3百万円（前年同四半期比57.2%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億5千5百万円（前年同四半期比69.1%増）となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の営業形態として完成工事高が下半期、特に第3四半期に偏ることから、通期の業績に対し第2四半期までの売上高の割合が低くなるといった季節的変動があります。

セグメントごとの経営成績を示すと次のとおりであります。

(建設事業部門)

当第2四半期連結累計期間の受注高は29億7千9百万円（前年同四半期比104.7%増）、完成工事高は13億2千4百万円（前年同四半期比13.5%減）、営業利益は1億7千6百万円（前年同四半期比0.7%減）となりました。

(碎石事業部門)

当第2四半期連結累計期間の売上高は12億円（前年同四半期比40.0%増）、営業利益は2億9千3百万円（前年同期比82.8%増）となりました。

(酒類事業部門)

当第2四半期連結累計期間の売上高は1億7千3百万円（前年同四半期比2.4%減）、営業損失は1千6百万円（前年同四半期は営業損失9百万円）となりました。

(その他の事業部門)

その他の事業部門の当第2四半期連結累計期間の売上高は2億1千1百万円（前年同四半期比3.0%増）、営業利益は1千2百万円（前年同四半期比18.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は38億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億3千2百万円増加いたしました。これは主に未成工事支出金等が2千8百万円減少いたしました。現金預金が2億9千万円、受取手形・完成工事未収入金等が2億4千万円増加したことによるものであります。固定資産は28億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ5千6百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が3千8百万円減少いたしました。有形固定資産が9千5百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、66億1千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億8千8百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は34億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億9千8百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が1億1千万円、未払費用が7千5百万円減少いたしました。未成工事受入金が5億7千5百万円増加したことによるものであります。固定負債は6億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ8千1百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、40億2千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8千万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は25億9千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億8百万円増加いたしました。これは配当金2千5百万円の支払及び親会社株主に帰属する四半期純利益2億5千5百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は39.2%（前連結会計年度末は39.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期決算発表時(平成30年8月17日)に公表した通期の業績予想については現時点での変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金預金	1,885,247	2,175,398
受取手形・完成工事未収入金等	1,178,463	1,418,757
未成工事支出金等	207,302	178,842
その他	12,455	42,483
貸倒引当金	△2,855	△2,855
流動資産合計	3,280,613	3,812,625
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物・構築物(純額)	312,410	305,641
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	650,562	758,344
土地	790,994	790,994
リース資産(純額)	13,852	10,394
その他	23,578	21,919
有形固定資産合計	1,791,398	1,887,294
<b>無形固定資産</b>		
採石権	12,666	12,666
その他	2,663	2,663
無形固定資産合計	15,329	15,329
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	282,131	265,722
保険積立金	199,804	205,189
繰延税金資産	69,786	50,363
退職給付に係る資産	105,526	84,584
その他	343,334	355,759
貸倒引当金	△61,330	△61,330
投資その他の資産合計	939,253	900,288
固定資産合計	2,745,981	2,802,912
資産合計	6,026,595	6,615,538

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	706,819	640,774
短期借入金	1,643,492	1,644,993
リース債務	6,878	6,246
未払費用	154,981	79,859
未払法人税等	214,488	103,831
未成工事受入金	153,052	728,349
工事損失引当金	10,800	16,700
賞与引当金	6,482	6,983
その他	213,158	181,411
流動負債合計	3,110,153	3,409,150
固定負債		
長期借入金	354,114	428,812
リース債務	8,472	5,333
退職給付に係る負債	132,023	139,966
役員退職慰労引当金	34,526	36,354
その他	4,063	4,063
固定負債合計	533,198	614,528
負債合計	3,643,351	4,023,679
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	942,950	942,950
資本剰余金	594,558	594,558
利益剰余金	901,063	1,131,498
自己株式	△35,785	△35,785
株主資本合計	2,402,787	2,633,221
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,099	△12,719
為替換算調整勘定	△28,643	△28,643
その他の包括利益累計額合計	△19,543	△41,362
純資産合計	2,383,243	2,591,859
負債純資産合計	6,026,595	6,615,538

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成30年12月31日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	1,530,508	1,324,154
兼業事業売上高	1,240,315	1,585,539
売上高合計	2,770,824	2,909,694
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	1,231,882	998,778
兼業事業売上原価	908,711	1,065,476
売上原価合計	2,140,593	2,064,254
<b>売上総利益</b>		
完成工事総利益	298,626	325,376
兼業事業総利益	331,603	520,063
売上総利益合計	630,230	845,439
販売費及び一般管理費	381,183	485,482
営業利益	249,046	359,957
<b>営業外収益</b>		
受取利息	193	315
受取配当金	1,301	1,438
固定資産賃貸料	15,393	24,066
為替差益	4,395	—
持分法による投資利益	—	25,479
その他	3,884	8,347
営業外収益合計	25,168	59,647
<b>営業外費用</b>		
支払利息	11,281	10,066
為替差損	—	483
持分法による投資損失	2,876	—
その他	3,459	5,624
営業外費用合計	17,617	16,174
<b>経常利益</b>	256,598	403,430

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年7月1日 至 平成30年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	454	10,596
特別利益合計	454	10,596
特別損失		
減損損失	7,856	13,311
固定資産売却損	263	—
特別損失合計	8,120	13,311
税金等調整前四半期純利益	248,932	400,715
法人税、住民税及び事業税	65,494	120,421
法人税等調整額	32,284	24,639
法人税等合計	97,779	145,060
四半期純利益	151,152	255,654
親会社株主に帰属する四半期純利益	151,152	255,654

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年7月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	151,152	255,654
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,439	△21,818
為替換算調整勘定	△4,259	△0
その他の包括利益合計	12,180	△21,818
四半期包括利益	163,333	233,835
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	163,333	233,835
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年7月1日 至 平成30年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	248,932	400,715
減価償却費	103,672	137,957
賞与引当金の増減額 (△は減少)	280	501
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	8,000	5,900
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△18,111	28,885
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	958	1,828
受取利息及び受取配当金	△1,495	△1,753
支払利息	11,281	10,066
為替差損益 (△は益)	△4,395	483
持分法による投資損益 (△は益)	2,876	△25,479
固定資産売却損益 (△は益)	△190	△10,596
減損損失	7,856	13,311
売上債権の増減額 (△は増加)	△691,869	△239,939
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	18,161	△11,161
たな卸資産の増減額 (△は増加)	31,554	39,621
仕入債務の増減額 (△は減少)	211,089	△66,137
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△32,454	575,296
未払消費税等の増減額 (△は減少)	7,730	△24,525
その他の資産の増減額 (△は増加)	△91,069	△23,387
その他の負債の増減額 (△は減少)	△71,993	△99,894
その他	1,000	1,067
小計	△258,186	712,759
利息及び配当金の受取額	2,386	2,647
利息の支払額	△12,206	△10,072
法人税等の支払額	△74,780	△209,111
営業活動によるキャッシュ・フロー	△342,786	496,223

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年7月1日 至 平成30年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△120,000	△125,000
定期預金の払戻による収入	120,000	120,000
貸付けによる支出	△1,400	—
貸付金の回収による収入	1,029	745
投資有価証券の取得による支出	—	△900
有形固定資産の取得による支出	△160,397	△258,381
有形固定資産の売却による収入	895	10,597
保険積立金の積立による支出	△4,379	△5,385
その他	△1,734	△188
投資活動によるキャッシュ・フロー	△165,986	△258,511
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	9,998	△30,149
長期借入れによる収入	97,700	183,000
長期借入金の返済による支出	△54,499	△76,650
リース債務の返済による支出	△4,393	△3,770
自己株式の取得による支出	△55	—
配当金の支払額	△18,865	△25,147
財務活動によるキャッシュ・フロー	29,884	47,281
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,916	158
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△475,972	285,151
現金及び現金同等物の期首残高	1,292,614	1,559,048
現金及び現金同等物の四半期末残高	816,642	1,844,200

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	砕石事業	酒類事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,530,508	857,319	178,010	2,565,839	204,984	2,770,824	-	2,770,824
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,484	77,283	455	79,223	12,802	92,025	△92,025	-
計	1,531,992	934,603	178,466	2,645,063	217,786	2,862,850	△92,025	2,770,824
セグメント利益又は 損失(△)	177,719	160,731	△9,766	328,684	14,968	343,652	△94,606	249,046

(注) (1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油販売事業、不動産事業、太陽光発電事業、環境事業、警備事業及び乳酸菌事業を含んでおります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額94,606千円には、セグメント間取引消去1,334千円、各報告セグメントに配分していない全社費用95,940千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(3) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「酒類事業」セグメントにおいて、機械装置・工具器具備品、車両運搬具、管理備品及び長期前払費用の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては7,856千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成30年7月1日 至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	砕石事業	酒類事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,324,154	1,200,558	173,795	2,698,508	211,185	2,909,694	-	2,909,694
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,350	110,286	468	127,104	13,797	140,902	△140,902	-
計	1,340,504	1,310,844	174,263	2,825,613	224,983	3,050,596	△140,902	2,909,694
セグメント利益又は 損失(△)	176,531	293,857	△16,118	454,269	12,188	466,458	△106,500	359,957

(注) (1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油販売事業、不動産事業、太陽光発電事業、環境事業、警備事業及び乳酸菌事業を含んでおります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額106,500千円には、セグメント間取引消去944千円、各報告セグメントに配分していない全社費用107,445千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(3) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「酒類事業」セグメントにおいて、機械装置・工具器具備品、車両運搬具及び長期前払費用の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては12,992千円であります。

「その他」セグメントにおいて、工具器具備品の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては319千円であります。

3. 四半期建設事業受注の概況

(株式会社才田組受注高)

	受注高	
	千円	%
平成31年6月期第2四半期累計期間	2,866,228	107.0
平成30年6月期第2四半期累計期間	1,384,947	7.1

(注) 1. 受注高は、当該四半期までの累計額であります。

2. パーセント表示は、前同四半期比増減率であります。

受注実績内訳

			平成31年6月期 第2四半期累計期間		平成30年6月期 第2四半期累計期間		比較増減	増減率
			千円	%	千円	%	千円	%
建設事業	土 木	官公庁	2,031,094	70.9	812,065	58.6	1,219,028	150.1
		民 間	370,482	12.9	428,446	30.9	△57,963	△13.5
		計	2,401,577	83.8	1,240,512	89.6	1,161,064	93.6
	建 設	官公庁	243,450	8.5	33,634	2.4	209,815	623.8
		民 間	221,201	7.7	110,800	8.0	110,401	99.6
		計	464,651	16.2	144,434	10.4	320,216	221.7
	合 計	官公庁	2,274,544	79.4	845,700	61.1	1,428,843	169.0
		民 間	591,684	20.6	539,246	38.9	52,437	9.7
		計	2,866,228	100.0	1,384,947	100.0	1,481,281	107.0

(注) パーセント表示は、構成比率であります。